

島根原子力発電所及び  
人形峠環境技術センター周辺  
環境放射線等測定結果（速報）

（令和5年度 第1～4四半期）

令和6年6月  
鳥 取 県

# ま え が き

鳥取県では、「令和5年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和5年4月から令和6年3月までの第1～4四半期までの監視結果について、「鳥取県原子力安全顧問ワーキンググループ（モニタリング分野）」において検討し、確認されたものを速報としてとりまとめたものです。

# 目次

まえがき

## 令和5年度平常時モニタリング測定結果

ページ

### 【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1 測定方法	1
(1) 概要	1
(2) 実施機関	1
(3) 実施内容	1
(4) 測定結果の評価方法	1
2 令和5年度測定結果	6
(1) 測定結果概要	6
(2) 測定項目別の結果	13
3 令和6年度の平常の変動幅の設定について	26
(1) 空間放射線	26
(2) 大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定	27
(3) 環境試料中の放射性核種	28
(4) 令和5年度までに測定終了した測定項目【参考】	30

### 【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】

1 測定方法	31
(1) 概要	31
(2) 実施機関	31
(3) 測定項目等	31
(4) 測定結果の評価方法	31
2 令和5年度測定結果	35
(1) 測定結果概要	35
(2) 測定項目別の結果	38
3 令和6年度の平常の変動幅の設定について	45
(1) 空間放射線	45
(2) 大気浮遊じん全 $\alpha$ 放射能、大気中フッ素の連続測定（固定型モニタリングポスト）	45
(3) 環境試料中の放射性核種	46
(4) 令和5年度までに測定終了した測定項目【参考】	47

### 【Ⅲ 平常の変動幅超過に係る検証】

検証1 境港局における空間放射線量率について	51
------------------------	----

#### 【IV 参考資料】

1	可搬型モニタリングポストの稼働・通信訓練の結果	59
(1)	概要	59
(2)	結果概要	59
2	島根原子力発電所周辺における積算線量の経時変化	61
3	島根原子力発電所周辺における環境試料中の人工放射性核種の経時変化	62
(1)	セシウム 137	62
(2)	トリチウム	66
(3)	ストロンチウム 90	66
4	人形峠環境技術センター周辺における積算線量の経時変化	68
5	人形峠環境技術センター周辺における環境試料中の放射性核種の経時変化	69
(1)	ウラン 235	69
(2)	ウラン 238	70
6	環境試料中の人工放射性核種による預託実効線量（成人）	72
7	環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	73
(1)	島根原子力発電所周辺	73
(2)	人形峠環境技術センター周辺	78
8	気象測定結果	79
(1)	島根原子力発電所周辺	79
(2)	人形峠環境技術センター周辺	86
9	平常の変動幅の上限を超過した場合の要因調査等の方法	91
10	用語集	94
	過去に刊行した環境放射線等測定結果の訂正	97

# 令和5年度平常時モニタリング測定結果（第1～4四半期）

## 【I 島根原子力発電所周辺】

### 1 測定方法

#### (1) 概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

#### (2) 実施機関

原子力環境センター

#### (3) 実施内容

平常時モニタリングは、令和5年度環境放射線等測定計画に基づき実施する。以下のとおり当該計画の主な内容を抜粋する。

##### ア 測定計画

表I-1-1のとおり。

##### イ 測定地点

図I-1-1、図I-1-2のとおり。

##### ウ 測定方法及び測定機器

表I-1-2のとおり。

#### (4) 測定結果の評価方法

空間放射線等の測定結果については、「平常の変動幅」と比較し、これを超過した項目については、気象要因等の自然条件の変化、原子力施設の稼働状況等を調査して、原因について検討する。

また、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考とする。

表 I-1-1 令和5年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

区分	測定地点	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
空間放射線量率	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2		連続測定	—	NaI (Tl) シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7 ※		連続測定	—	NaI (Tl) シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
積算線量	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9		4~6月 7~9月 10~12月 1~3月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」

※ 7カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時におけるOIL判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

2 大気浮遊じん全α及び全β放射能

区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん放射能	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」

### 3 環境試料中の放射性核種分析

区分	試料	部位	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
				頻度	採取月	核種	ベ	F3		
大気	浮遊じん	-	境港市上道町 米子市河崎	毎月	毎月	12	/	/	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
						12				
降下物	降下物	-	境港市上道町 米子市河崎	毎月	毎月	12	/	/	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
						12				
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町 米子市河崎	3年毎 年2回	5, 11月	2	/	/	γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90： 低バックグラウンドベータ線測定装置 ※トリチウムは委託分析	
					R6	2				
					R7	2				
植物	松葉	二年葉	境港市幸神町 米子市夜見町	年1回 年1回	10月	1	/	/	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
					10月	1				
土壌	公園 グランド	表層	境港市馬場崎町 米子市河崎	2年毎 年1回	7月	1	/	/	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	
					R6	1				
海水	海水	表層水	境港市昭和町 米子市大篠津町	2年毎 年2回	5, 11月	2	/	/	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
					R6	2				
農産物	米 白ネギ ダイコン ワカメ	精米 可食部 根 可食部	米子市夜見町 境港市中海干拓地 境港市近海	年1回 年1回 年1回	10月	1	/	/	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	
					12月	1				
					4月	1				
海産物	イカ セイゴ ナマコ	身 身 身	境港市近海 境港市近海 境港市近海	年1回 年1回 年1回	7月	1	/	/	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
					1月	1				
					3月	1				
合計						62	4	4		

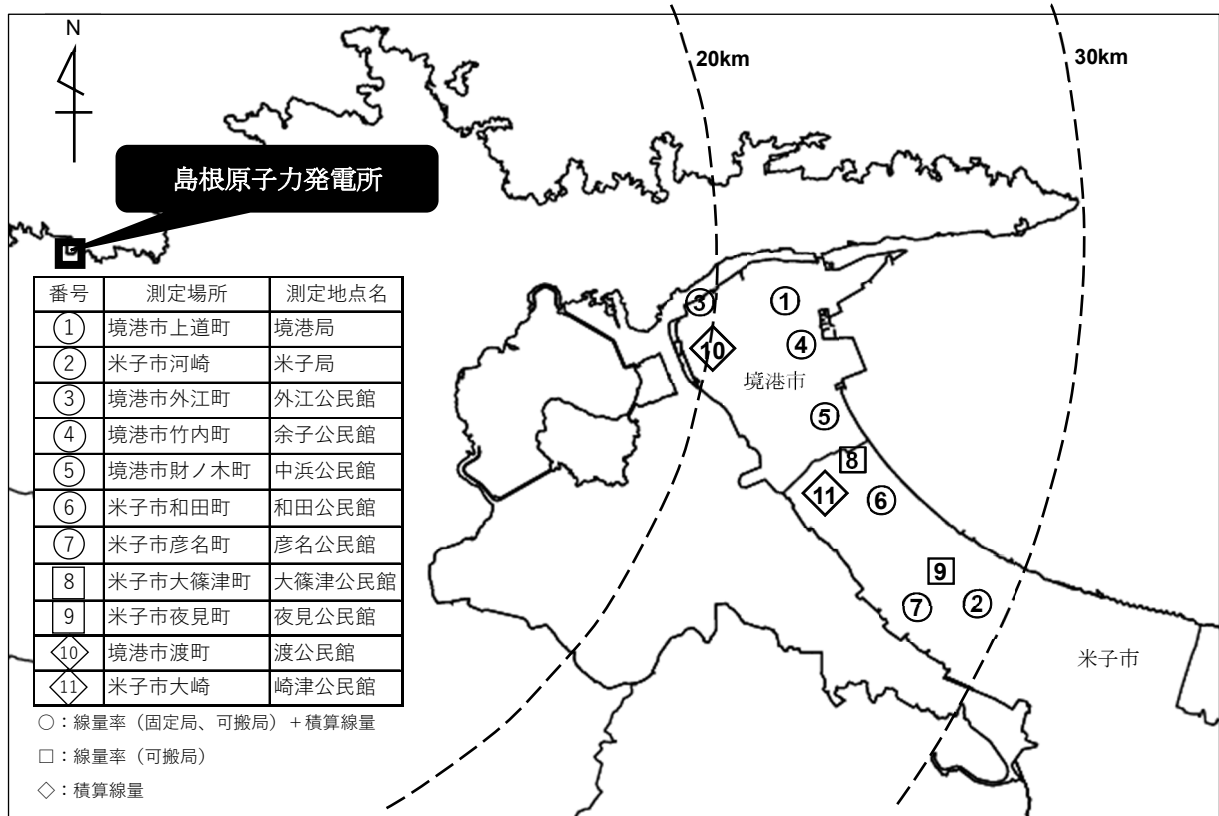


図 I - 1 - 1 空間放射線量率測定地点

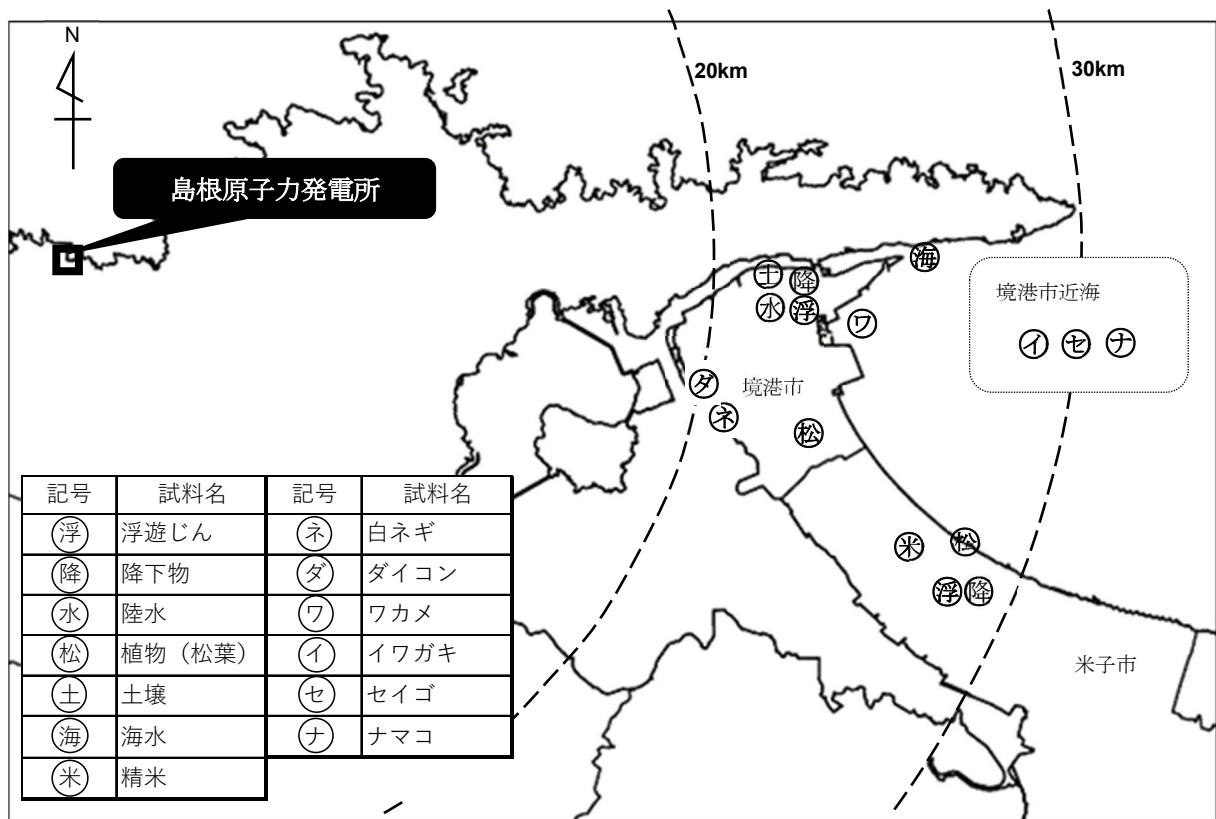


図 I - 1 - 2 環境試料採取地点



表 I - 1 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目		測定方法	測定機器	
空間放射線	空間放射線量率	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」	NaI (Tl) シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3	
	積算線量	連続測定 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」	蛍光ガラス線量計 (RPLD) 千代田テクノル製 ガラス線量計素子	
大気	浮遊じん放射能	連続測定 放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」、 JISZ4316「放射性ダストモニタ」 (200L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS (Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1	
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ線スペクトロメトリー  放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/灰化物 <sup>※1</sup>		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
土壌	放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」			
農産物				

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

## 2 令和5年度測定結果

### (1) 測定結果概要

令和5年度の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

#### ア 空間放射線

##### (ア) 空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

米子局については、平常の変動幅の範囲内であったが、境港局については令和5年11月と令和6年2月に平常の変動幅の上限（119nGy/h）を超過する線量率が計6時間観測された。平常の変動幅の上限を超過した要因調査の結果、原子力施設の影響等ではなく、降水時の上昇によるものと考えられた（p.51 III 検証1参照）。

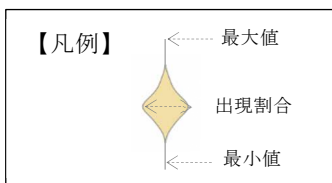
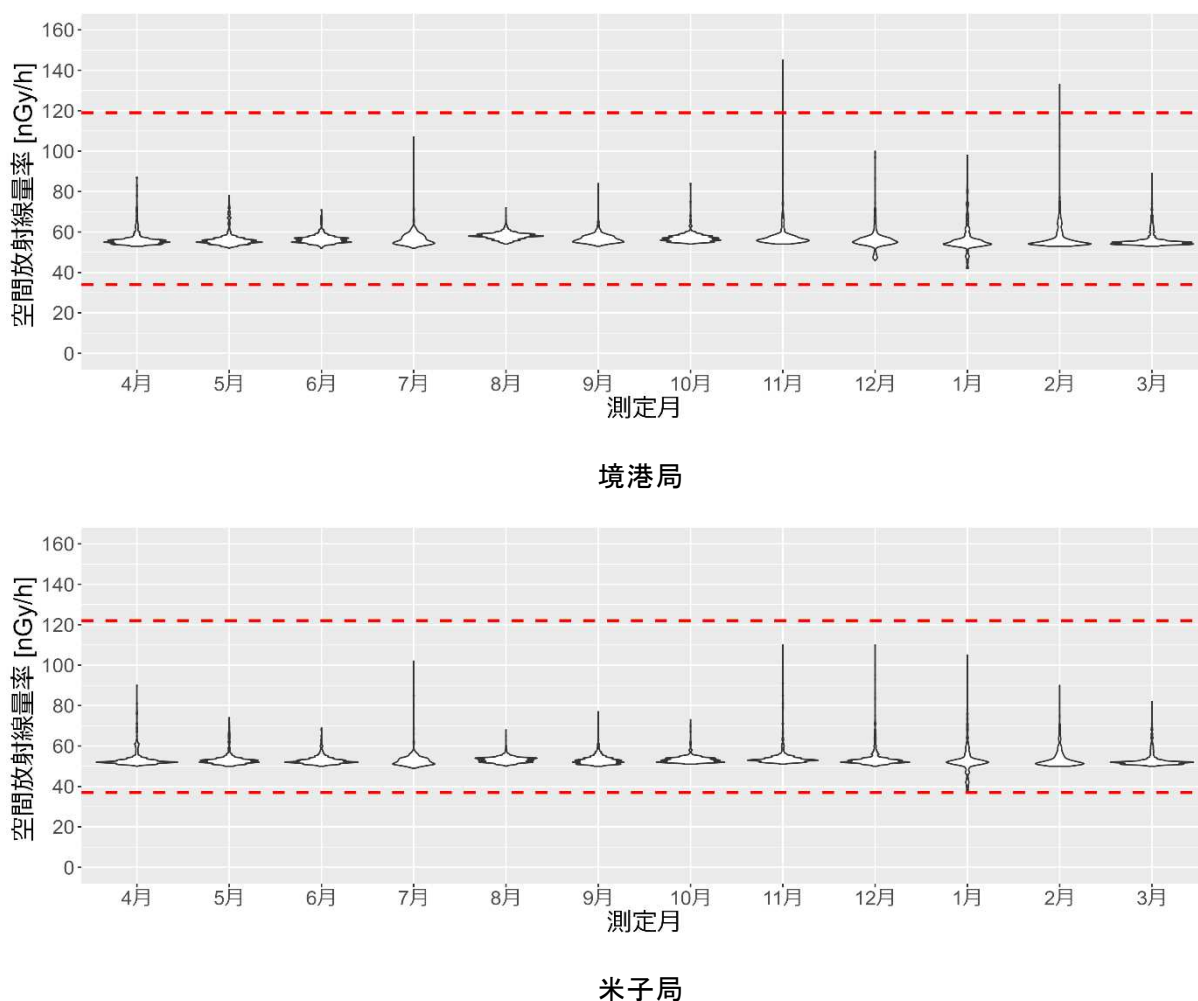
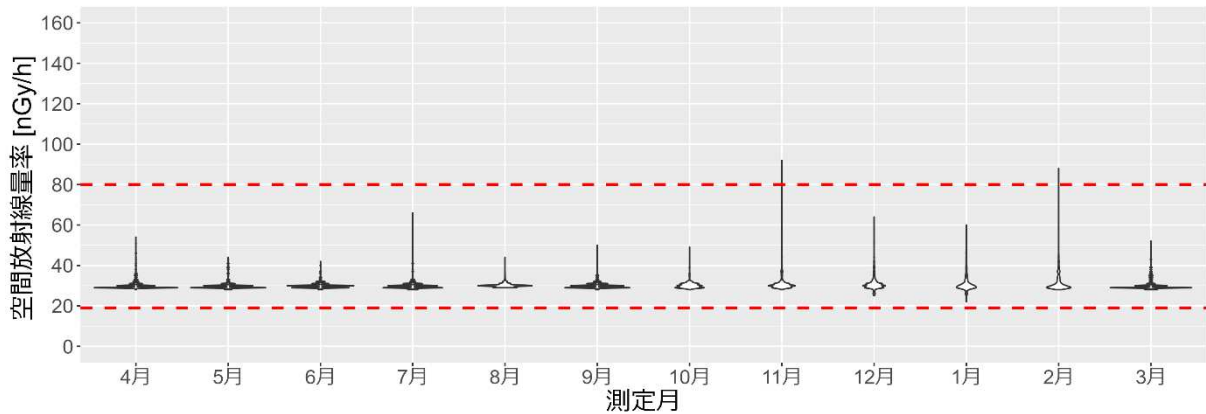


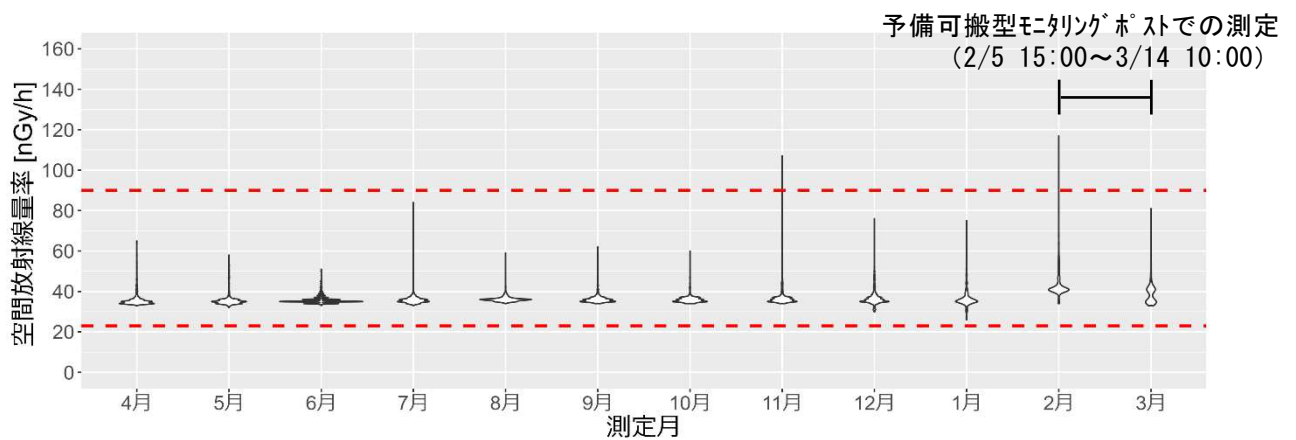
図 I - 2 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 緊急時の可搬局の空間放射線量率連続測定結果は、中浜公民館、夜見公民館及び彦名公民館の3地点は平常の変動幅の範囲内であった。

大篠津公民館については令和5年11月に、外江公民館、余子公民館及び和田公民館については令和5年11月と令和6年2月に、平常の変動幅の上限を超過する線量率が観測された。観測された時間帯は、境港局の空間放射線量が平常の変動幅の上限を超過した時間帯と同じであることから、原子力施設による影響ではなく、降水時の上昇によるものと考えられた。



外江公民館



余子公民館

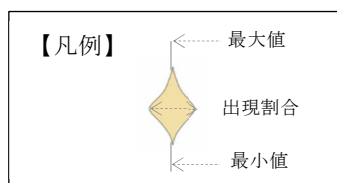
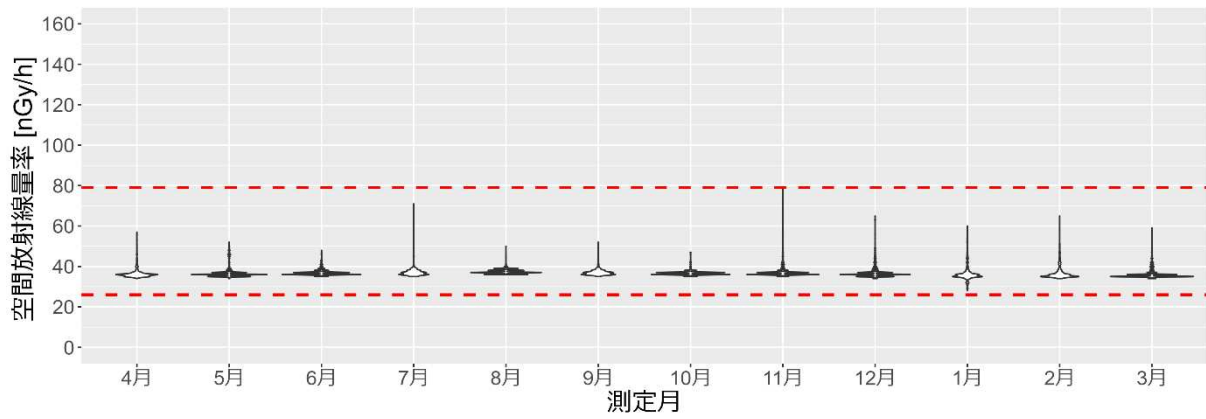
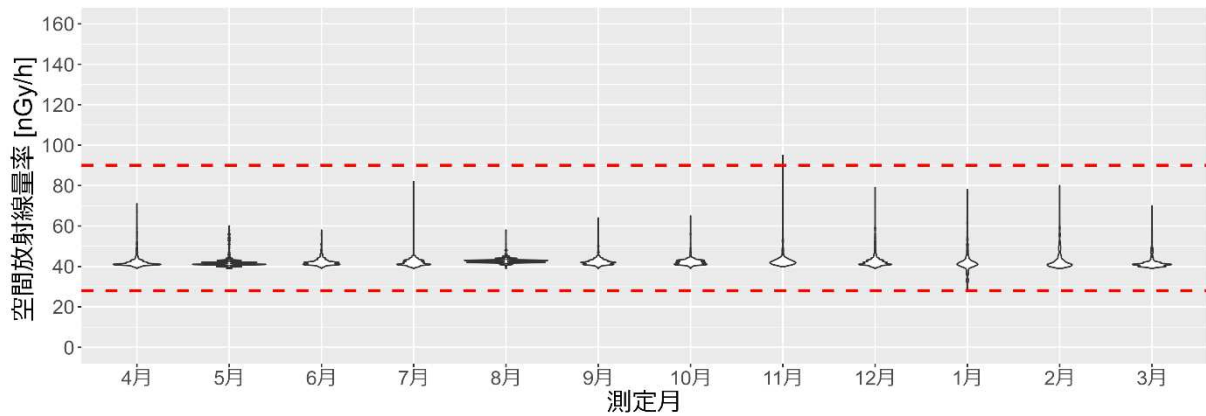


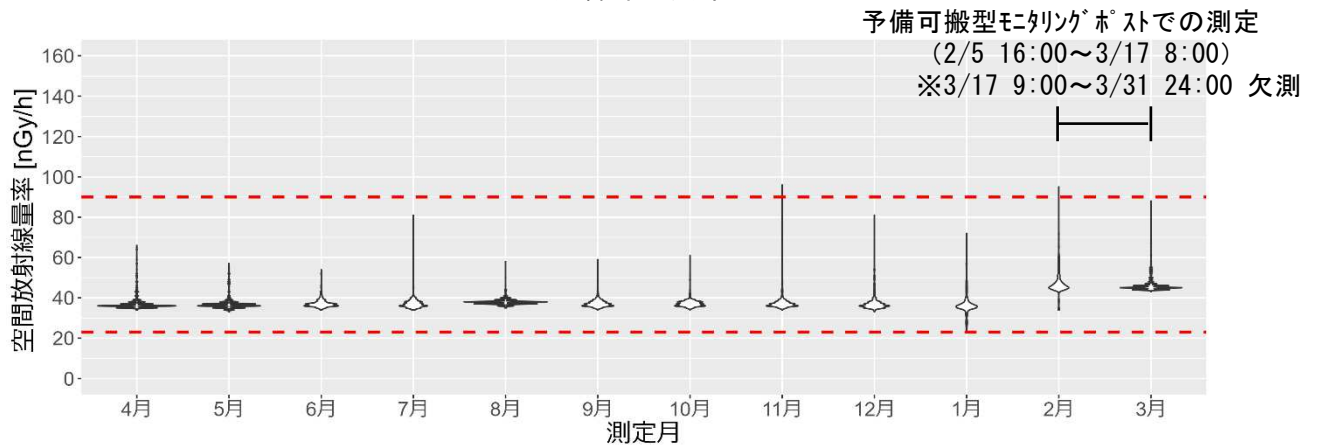
図 I - 2 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

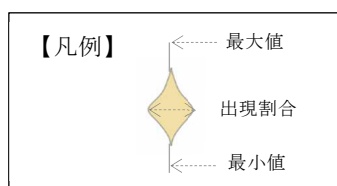


図 I - 2 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

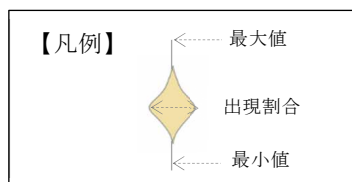
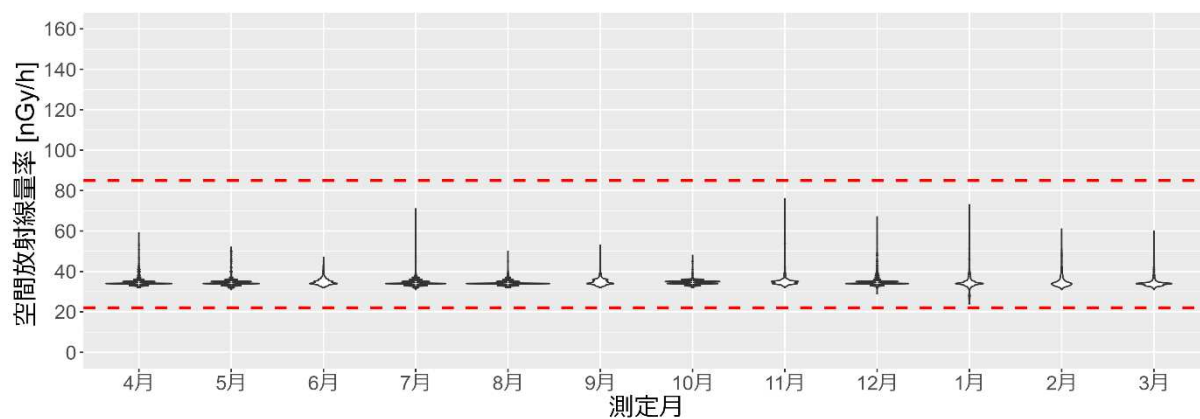
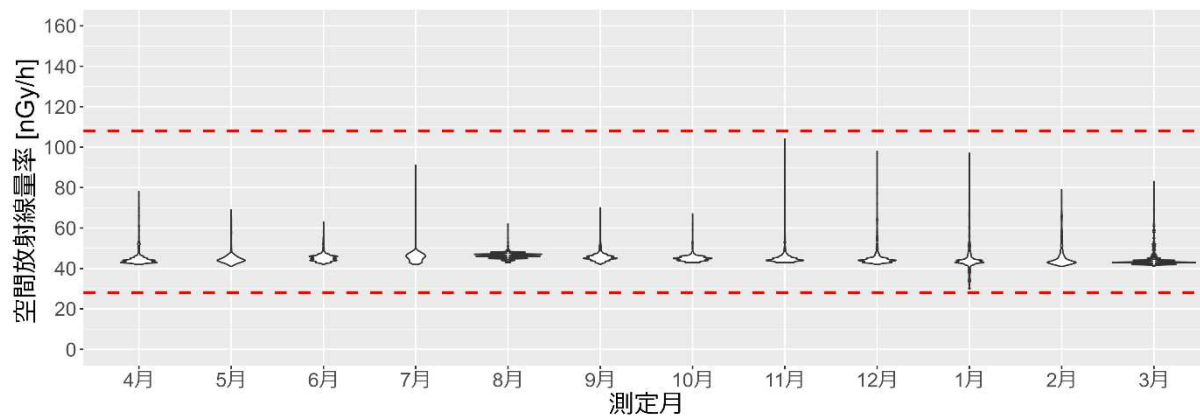


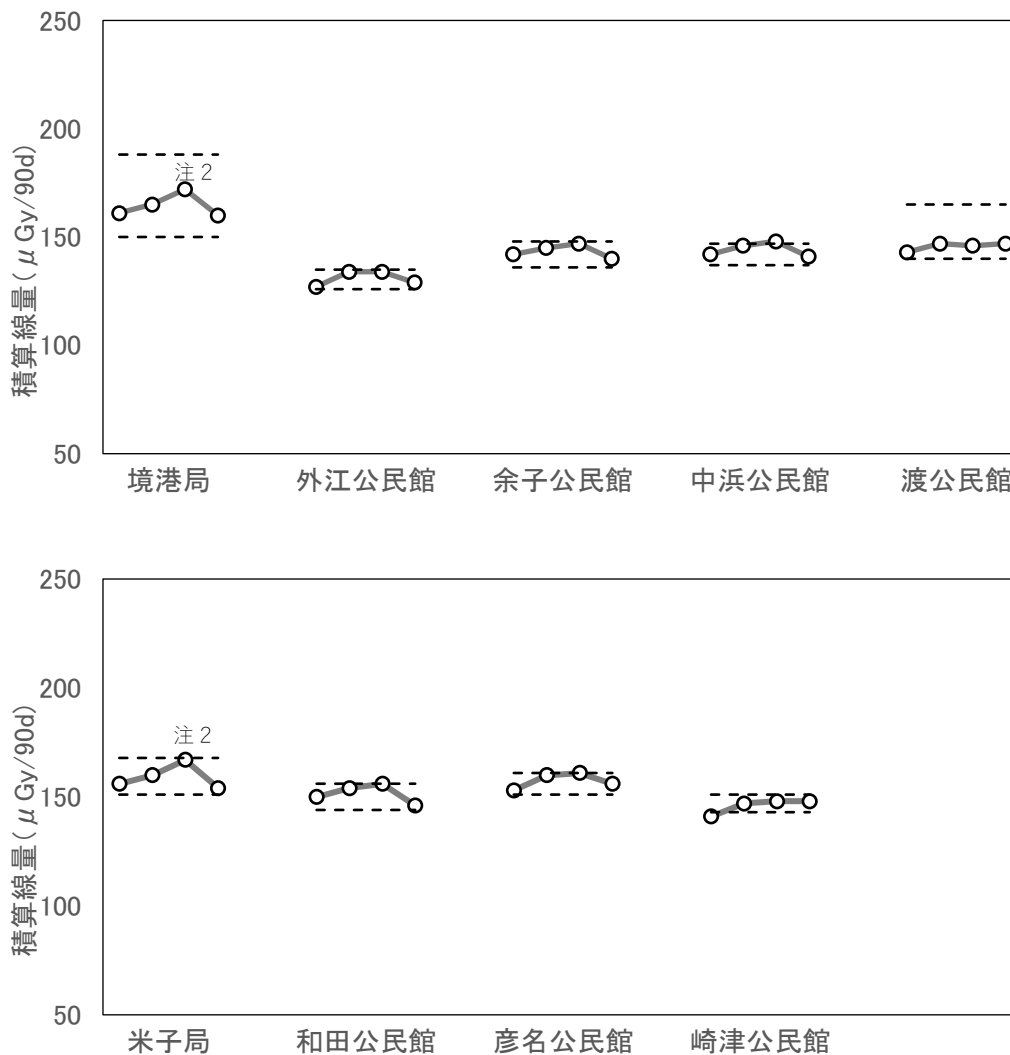
図 I - 2 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

(イ) 積算線量測定

崎津公民館及び中浜公民館以外の7地点については平常の変動幅の範囲内であった。

崎津公民館については、第1四半期に平常の変動幅の下限をわずかに下回り、中浜公民館については、第3四半期に平常の変動幅をわずかに超過した。

積算線量は平成28年度から測定を開始し、平常の変動幅を設定した期間は過去8年分の測定データであることや、周辺状況の変化が確認されなかったことから、平常の変動幅の範囲から外れたのは自然変動によるものと考えられる。



注1：○は第1～4四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

注2：米子局及び境港局の第3四半期については、測定に供されない期間があったため参考値とする。

図 I - 2 - 2 積算線量の測定結果

## イ 大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定

第1四半期及び第4四半期に境港局の大気浮遊じん全 $\beta$ 放射能で平常の変動幅をわずかに下回った。

米子局及び境港局の大気浮遊じん全 $\alpha$ 放射能並びに米子局の大気浮遊じん全 $\beta$ 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-2-1 大気浮遊じんの全 $\alpha$ 放射能、全 $\beta$ 放射能の概要

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 $\alpha$ 放射能	境港局	1,616	6	6 ~ 2,101	mBq/m <sup>3</sup>
	米子局	1,566	6	5 ~ 2,266	
全 $\beta$ 放射能	境港局	4,729	<u>18</u>	21 ~ 5,584	
	米子局	4,589	21	17 ~ 5,920	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、H30～R04年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

## ウ 環境試料中の放射性核種

### (ア) $\gamma$ 線スペクトロメトリー

降下物及び農産物（米）からCs-137が検出された。

米子局の降下物から検出されたCs-137（4月：0.14 MBq/km<sup>2</sup>、3月：0.10 MBq/km<sup>2</sup>）は、平常の変動幅の範囲内（0.18 MBq/km<sup>2</sup>）であった。

米子市から採取した農産物（米）から検出されたCs-137（0.13Bq/kg 生）は、平常の変動幅の下限（0.16Bq/kg 生）を下回ったが、採取試料の前処理、分析機器の異常は認められなかった。

そのほかの分析結果では測定対象物質は検出されなかった。

表 I-2-2  $\gamma$ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要

区分	試料数	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m <sup>3</sup>
降下物	24	ND	ND	ND	ND		ND	ND～ 0.14	MBq/km <sup>2</sup>
陸水	2	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11～ 0.48	Bq/kg 生
土壌	1	ND	ND	ND	ND		ND	ND	Bq/kg 乾土
海水	2	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<u>0.13</u>	Bq/kg 生
海産生物	3 <sup>注2</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg 生

注1：下線は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

注2：海産生物のうち、セイゴが採取できなかったため、試料数4→3とした。

(イ) トリチウム分析

陸水（水道水）、海水の H-3 測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I - 2 - 3 トリチウム (H-3) の分析結果の概要

区分	試料	試料数	分析結果	平常の変動幅	単位
陸水	水道水	2	0.26~0.33	ND~0.47	Bq/L
海水	海水	2	0.14~0.18	ND~0.39	

(ウ) 放射化学分析 (Sr-90)

本年度より測定を開始した陸水（水道水）の Sr-90 測定結果は 1.0~1.1mBq/L であった。全国の環境放射能水準調査における蛇口水の Sr-90 測定結果と比較して同レベルであり、過去の核実験フォールアウトの影響と考えられた。

土壌及び農産物の Sr-90 測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I - 2 - 4 ストロンチウム (Sr-90) の分析結果の概要

区分	試料	試料数	分析結果	平常の変動幅	単位
陸水	水道水	2	1.0~1.1	(R05~)	mBq/L
土壌	公園	1	0.35	0.30~0.43	Bq/kg 乾土
農産物	白ネギ	1	0.016	0.013~0.025	Bq/kg 生



(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I - 2 - 5 固定型モニタリングポストの連続測定結果 (1 時間値)

(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	87	78	71	107	72	84	84	<u>145</u>	100	98	133	89	145	119
	最低値	53	52	52	52	54	53	54	54	46	42	53	53	42	34
	平均値	57	57	56	58	58	57	57	59	57	57	57	56	57	—
米子局	最高値	90	74	69	102	68	77	73	110	110	105	90	82	110	122
	最低値	50	50	50	49	50	50	51	51	50	38	50	50	38	37
	平均値	54	54	53	54	53	53	53	56	54	54	54	53	54	—

注1:「平常の変動幅」:米子局は前年度までの5年間(H30~R04)の最小値から最大値までの範囲。

境港局は、H31年1月~R04年3月の最小値から最大値までの範囲。

注2:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I - 2 - 6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果 (1時間値)

(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江 公民館	最高値	54	44	42	66	44	50	49	<u>92</u>	64	60	88	52	92	80
	最低値	28	28	28	28	29	28	28	28	25	22	28	28	22	19
	平均値	31	30	30	31	30	30	30	30	32	31	31	32	30	31
注3 余子 公民館	最高値	65	58	51	84	59	62	60	<u>107</u>	76	75	56	67	<u>107</u>	90
	最低値	33	32	33	33	34	34	34	34	30	26	34	33	26	23
	平均値	36	36	36	37	36	36	36	36	38	37	38	38	37	37
中浜 公民館	最高値	57	52	48	71	50	52	47	78	65	60	65	59	78	79
	最低値	34	34	35	35	36	35	35	35	34	28	34	34	28	26
	平均値	37	37	37	38	37	37	37	37	38	37	37	37	36	37
大篠津 公民館	最高値	71	60	58	82	58	64	65	<u>95</u>	79	78	80	70	95	90
	最低値	39	39	39	39	39	39	39	40	39	<u>29</u>	39	39	29	28
	平均値	43	42	42	43	43	43	42	44	43	43	43	42	43	—
注3 和田 公民館	最高値	66	57	54	81	58	59	61	<u>96</u>	81	72	56	—	<u>96</u>	90
	最低値	34	33	34	34	35	34	34	34	33	24	34	—	24	23
	平均値	38	37	37	38	38	37	37	39	38	37	39	—	38	—
夜見 公民館	最高値	78	69	63	91	62	70	67	104	98	97	79	83	104	108
	最低値	42	41	42	42	43	42	43	43	42	30	41	41	30	28
	平均値	45	45	45	47	46	46	45	47	45	45	46	45	46	—
彦名 公民館	最高値	59	52	47	71	50	53	48	76	67	73	61	60	76	85
	最低値	32	31	32	31	32	32	32	32	29	<u>24</u>	31	31	24	22
	平均値	35	35	35	35	34	35	35	36	35	35	36	35	35	—

注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(H30～R04)の最小値から最大値までの範囲。

注2:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注3:代替測定対応(P59参照)のため、余子公民館は2/2 15時～3/14 10時まで、和田公民館は2/2 16時～3/31 24時まで測定が欠測した。

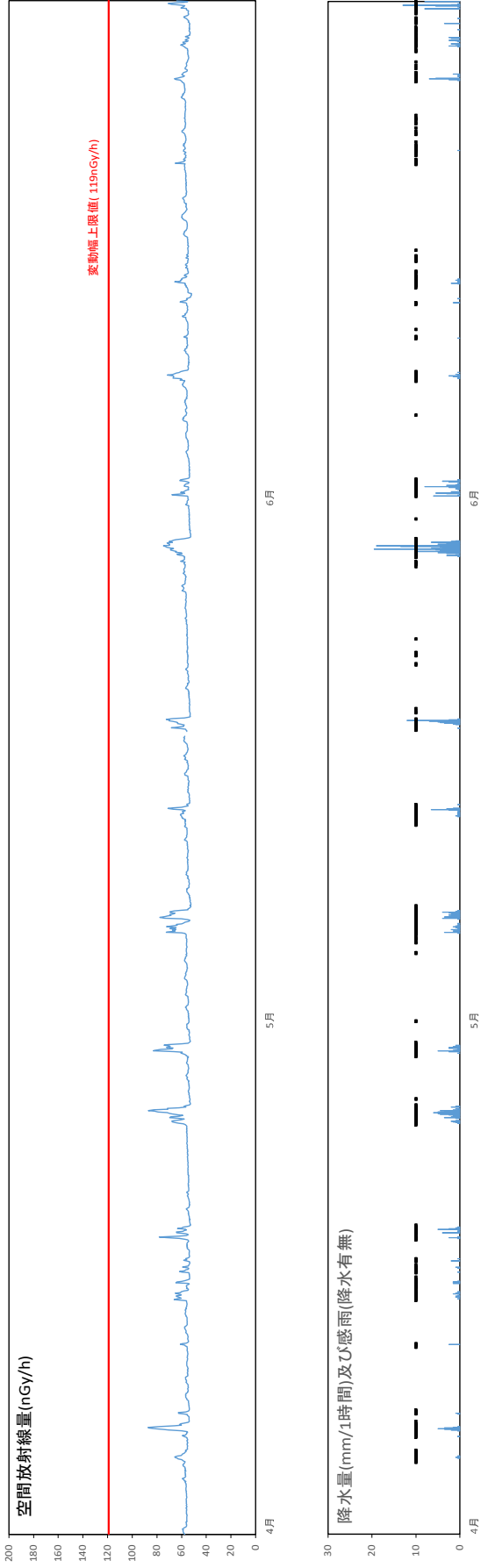
当該期間は、予備の可搬型モニタリングポストにより補完測定を行った。予備機による測定結果は下表のとおり。

(予備機での測定結果)

地点	測定期間	最高値	最低値	平均値
余子公民館 (予備機)	R6. 2. 2～3. 14	117	39	44
和田公民館 (予備機)	R6. 2. 2～※	95	43	48

※ 3/17～電源部の不具合により欠測

境港局



米子局

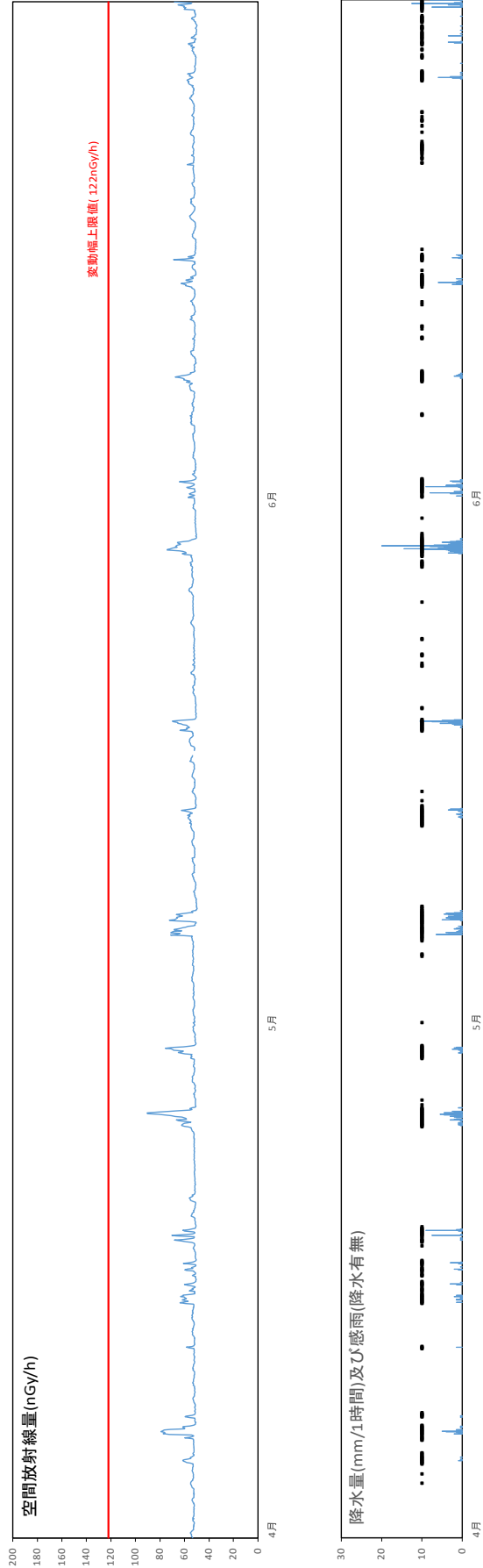
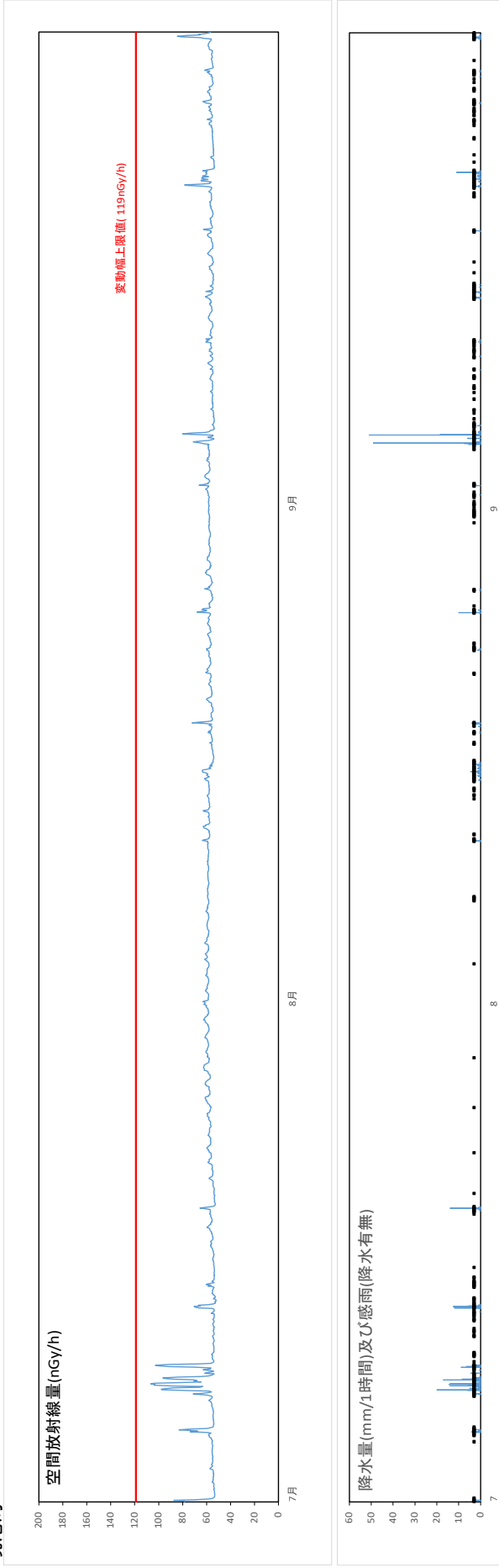


図 I-2-7a 空間放射線量率と降水量の関係(令和5年度第1四半期、1時間値)

境港局



米子局

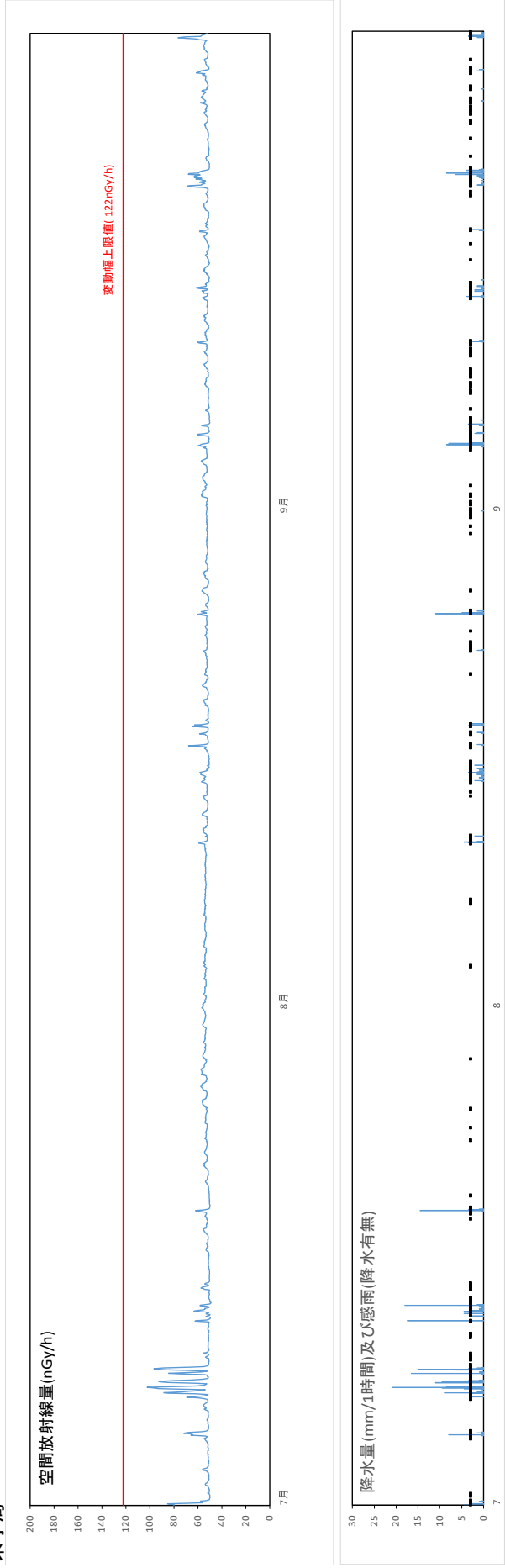
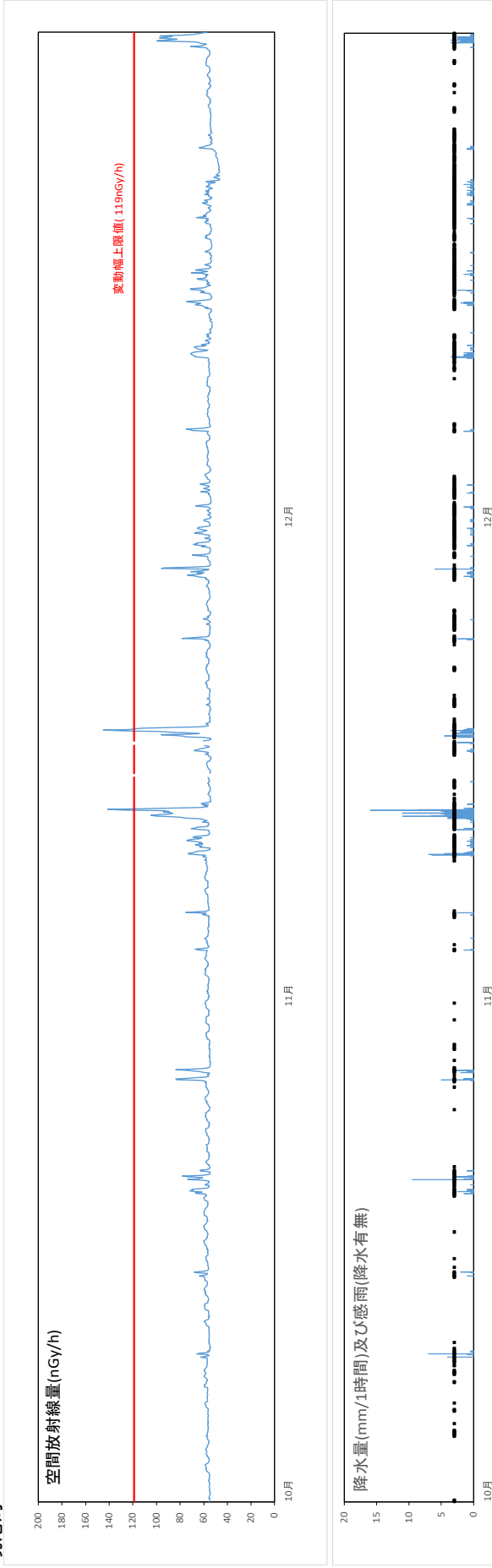


図 I-2-7b 空間放射線量率と降水量の関係(令和5年度第2四半期、1時間値)

境港局



米子局

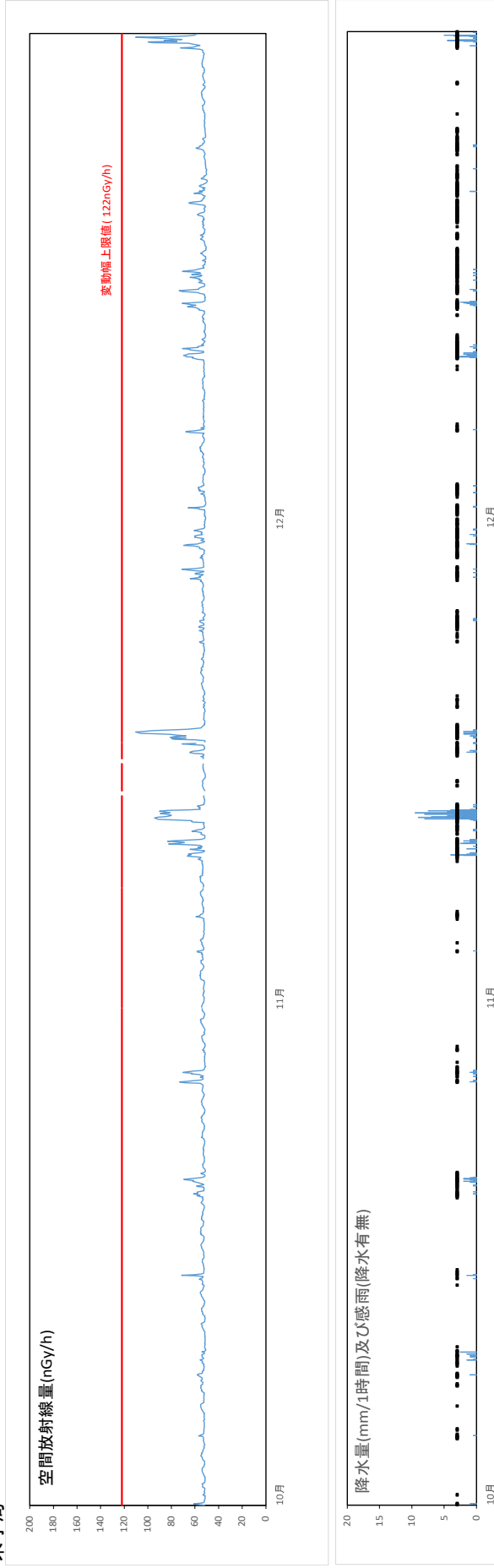
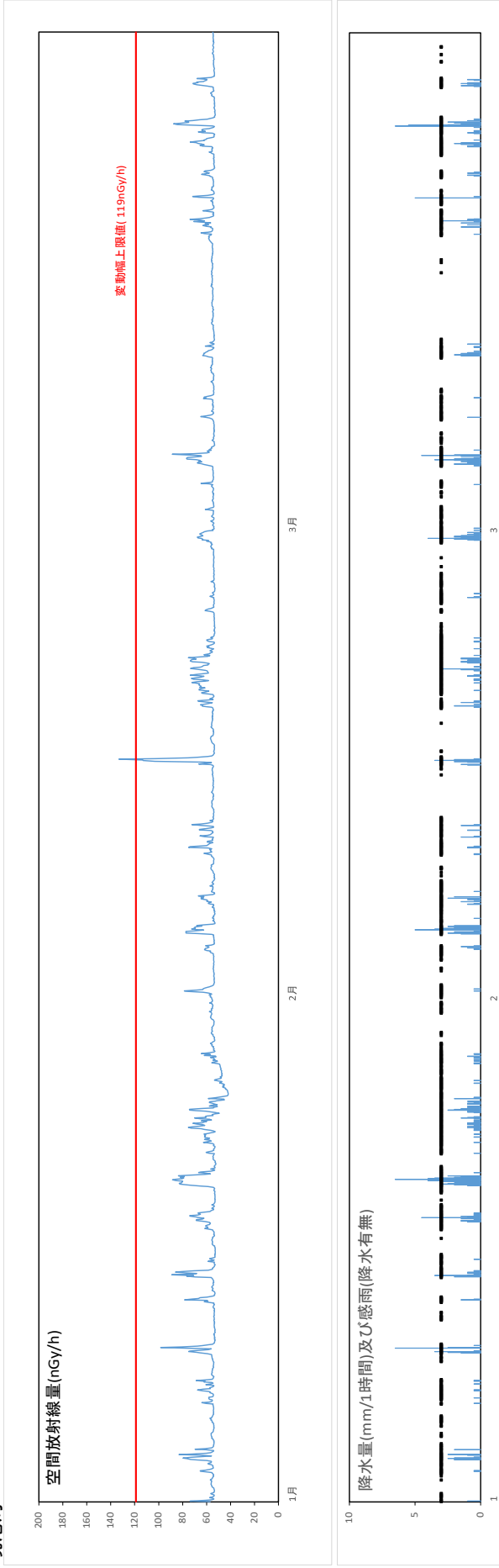


図 I - 2 - 7c 空間放射線量率と降水量の関係(令和5年度第3四半期、1時間値)

境港局



米子局

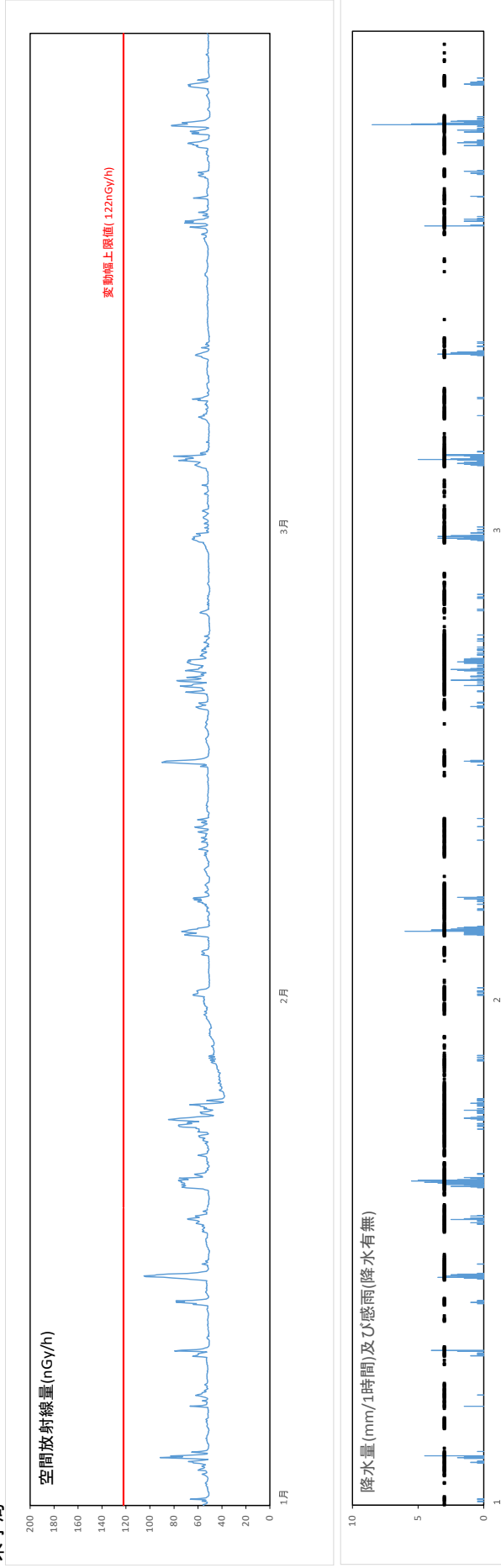


図 I-2-7d 空間放射線量率と降水量の関係(令和5年度第4四半期、1時間値)

## (イ)積算線量測定

表 I - 2 - 7 積算線量の測定結果

(単位:上段  $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段  $\mu\text{Gy}/\text{h}$ )

測定地点	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 ( $\text{mGy}/365\text{d}$ )
境港局	161 (0.075)	165 (0.076)	172 <sup>注4</sup> (0.080)	160 (0.074)	150～188 (0.069～0.087)	0.67 <sup>注4</sup>
米子局	156 (0.072)	160 (0.074)	167 <sup>注4</sup> (0.077)	154 (0.071)	151～168 (0.070～0.078)	0.65 <sup>注4</sup>
外江公民館	127 (0.059)	134 (0.062)	134 (0.062)	129 (0.060)	126～135 (0.058～0.063)	0.53
余子公民館	142 (0.066)	145 (0.067)	147 (0.068)	140 (0.065)	136～148 (0.063～0.069)	0.58
中浜公民館	142 (0.066)	146 (0.068)	<u>148</u> (0.069)	141 (0.065)	137～147 (0.063～0.068)	0.59
和田公民館	150 (0.069)	154 (0.071)	156 (0.072)	146 (0.068)	144～156 (0.067～0.072)	0.61
彦名公民館	153 (0.071)	160 (0.074)	161 (0.075)	156 (0.072)	151～161 (0.070～0.075)	0.64
渡公民館	143 (0.066)	147 (0.068)	146 (0.068)	147 (0.068)	140～165 (0.065～0.076)	0.59
崎津公民館	<u>141</u> (0.065)	147 (0.068)	148 (0.069)	148 (0.069)	143～151 (0.066～0.070)	0.59

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R04年度)とする。

注2:下段( )内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したものの。

注3:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注4:境港局及び米子局の第3四半期については、測定に供されない期間が境港局で3日間(11/15～17)、米子局で4日間(11/14～17)あったため、その分を補正し参考値とする。

イ 大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定

表 I - 2 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位: mBq/m<sup>3</sup>)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 $\alpha$ 放射能	境港局	最高値	1,427	1,263	1,585	1,520	1,616	1,423	1,358	1,612	1,132	883	739	724	1,616	2,101
		最低値	54	32	8	13	20	13	31	25	17	26	6	15	6	6
		平均値	249	278	364	316	256	268	407	369	258	209	146	148	272	
	米子局	最高値	1,371	1,546	1,461	1,472	1,293	1,460	1,234	1,566	1,335	1,136	1,315	972	1,566	2,266
		最低値	56	30	8	8	22	11	42	17	25	30	6	20	6	5
		平均値	283	294	331	300	227	352	398	371	319	245	207	203	294	
全 $\beta$ 放射能	境港局	最高値	3,943	3,189	3,981	3,666	4,729	3,918	3,802	4,246	3,068	2,502	2,125	2,140	4,729	5,584
		最低値	147	87	<u>19</u>	34	53	36	85	71	47	74	18	46	18	21
		平均値	657	727	945	823	728	750	1,153	1,063	745	609	439	437	756	
	米子局	最高値	4,055	4,218	4,240	4,372	3,928	4,372	3,717	4,589	3,835	3,387	3,849	2,499	4,589	5,920
		最低値	157	81	25	26	68	37	127	57	87	93	21	63	21	17
		平均値	783	817	1,019	918	695	1,049	1,216	1,135	960	752	599	574	875	
全 $\beta$ 全 $\alpha$	境港局	最高値	3.2	3.0	3.1	3.0	3.3	3.1	3.4	3.2	3.4	3.5	3.4	3.3	3.5	
		最低値	2.4	2.4	2.3	2.4	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	2.7	2.3	
		平均値	2.6	2.6	2.6	2.6	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0	2.8	
	米子局	最高値	3.1	3.2	3.8	3.8	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	3.2	3.8	
		最低値	2.5	2.6	2.8	2.7	2.6	2.7	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.5	
		平均値	2.8	2.8	3.1	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	2.9	2.9	3.0	

注1: 下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注2: 3時間集じんし、3時間測定。

注3: 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(H29~R04年度)の最小から最大値までの範囲。



ウ 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）  
（ア）大気（浮遊じん）

表 I-2-9 大気（浮遊じん）の測定結果

(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港局	4月4日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	5.8	0.53	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.1	0.48	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.3	0.38	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.7	0.47	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.0	0.53	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.2	0.53	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.7	0.52	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.3	0.60	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.7	0.54	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.60	
	2月1日～2月29日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.7	0.50	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.2	0.49	
米子局	4月4日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.7	0.33	ND ~0.010
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.53	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.1	0.47	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.6	0.42	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	0.86	0.27	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.4	0.40	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.7	0.39	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.9	0.39	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.43	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.34	
	2月1日～2月29日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.7	0.32	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.31	

注1:NDは検出下限値未滿を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取(H24~29年度は月1回の24時間採取)

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25~R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

## (イ) 降下物

表 I-2-10 降下物の測定結果

(単位: MBq/km<sup>2</sup>)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港局	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	140	4.4	ND
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	95	1.0	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	100	1.7	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	110	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	32	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	110	ND	
	10月1日～11月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	120	ND	
	11月1日～12月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	360	3.3	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	430	2.1	
	1月5日～2月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	440	1.5	
	2月1日～3月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	320	1.2	
	3月1日～4月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	170	1.9	
米子局	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.14	160	6.1	ND～ 0.18 (注3)
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	93	1.3	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	140	1.6	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	72	2.1	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	44	4.4	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	50	1.8	
	10月1日～11月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	55	1.6	
	11月1日～12月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	210	2.5	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	260	1.4	
	1月5日～2月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	310	1.2	
	2月1日～3月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	230	1.0	
	3月1日～4月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.10	170	3.0	

注1: NDは検出下限値未満を示す。

注2: 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3: 米子局はR01年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R01年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I-2-11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
水道水	蛇口水	境港市上道町	R05.05.17	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	40	ND
			R05.11.01	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	51	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I-2-12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
松葉	二年葉	境港市幸神町	R05.10.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.48	20	44	0.18～ 0.79
		米子市夜見町	R05.10.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	24	47	0.050～ 0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I-2-13 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
公園	表層	境港市馬場崎町	R05.07.03	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	8.3	930	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-2-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
海水	表層水	境港市昭和町 (美保湾)	R05.06.13	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	23	170	— (R05～)
			R05.11.16	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	21	220	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I - 2 - 15 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137	
米	精米	米子市夜見町	R05.09.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	16	0.16~0.28
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R05.12.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.94	51	ND
ダイコン	根 可食部	境港市中海干拓地	R05.12.13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	60	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25~R04年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、米は測定開始から10年経過しないため暫定値(H26~R04年度)とする。

注3:米はR01年度に生産者の変更に伴い、採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I - 2 - 16 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137	
ワカメ	可食部	境港市近海	R05.04.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.5	210	ND
イワガキ	身		R05.07.19	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.2	71	ND	
セイゴ	身		採取なし	—	—	—	—	/	—	—	—	—	—	0.10~0.16
ナマコ	身		R06.03.11	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	ND	16	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25~R04年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、ワカメ・イワガキ・セイゴは測定開始から10年経過しないため、暫定値(H26~R04年度)とする。

注3:セイゴはR05年度に採取できなかったため欠測とする。

エ 環境中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I-2-17 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	R05.06.09	0.33	ND ~ 0.47
				R05.11.01	0.26	
海水	海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R05.06.13	0.18	— (R05~)
				R05.11.16	0.14	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H27~R04年度)とする。

オ 環境中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I-2-18 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	R05.06.09	1.1	(R05~)	mBq/L
				R05.11.01	1.0		
土壌	公園	表層	境港市馬場崎町	R05.07.03	0.35	0.30~0.43	Bq/kg乾土
農産物	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R05.12.01	0.016	0.013~0.025	Bq/kg生

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(陸土:H30~R04年度、白ネギ:R01~R04年度)とする。

### 3 令和6年度の平常の変動幅の設定について

令和5年度の測定結果を踏まえ、令和6年度の平常の変動幅を(1)～(3)のとおりを設定する。なお、測定計画の見直しにより、令和5年度までに測定終了となった測定項目の実績については、参考として(4)に示す。

- 空間放射線量率連続測定、大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定  
過去5年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。
- 積算線量測定、環境試料の核種分析  
過去10年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。

#### (1) 空間放射線

##### ア 空間放射線量率連続測定(固定型モニタリングポスト)

(単位: nGy/h)

測定地点	平常の変動幅		測定開始時(H25)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生日時	最小値から最大値	最大値の発生日時
境港局	34 ~ 145	R05.11.18 8:00	34 ~ 145	R05.11.18 8:00
米子局	37 ~ 122	R04.07.19 10:00	34 ~ 146	H27.12.17 21:00

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R01～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

##### イ 空間放射線量率連続測定(可搬型モニタリングポスト)

(単位: nGy/h)

測定地点	平常の変動幅		測定開始時(H26)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生日時	最小値から最大値	最大値の発生日時
外江公民館	19 ~ 92	R05.11.18 08:00	19 ~ 104	H27.12.17 20:00
余子公民館	23 ~ 107	R05.11.13 09:00	21 ~ 107	R05.11.13 09:00
中浜公民館	26 ~ 79	R02.06.25 12:00	26 ~ 99	H27.12.17 21:00
大篠津公民館	28 ~ 95	R05.11.18 7:00	28 ~ 107	H29.01.23 07:00
和田公民館	23 ~ 96	R05.11.18 7:00	23 ~ 111	H27.12.17 21:00
夜見公民館	28 ~ 108	R04.07.19 10:00	28 ~ 135	H27.12.17 21:00
彦名公民館	22 ~ 85	R04.07.19 10:00	22 ~ 99	H27.12.17 21:00

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R01～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

## ウ 積算線量測定

(単位：μ Gy/90d)

測定地点	平常の変動幅(暫定値) ※1 測定開始時(H28)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生年月
境港局※2	160 ~ 165 (150~188)	R05.7~9 (H28.7~9)
米子局	151 ~ 168	H28.4~6
外江公民館	126 ~ 135	H28.4~6, H28.7~9
余子公民館	136 ~ 148	H28.4~6
中浜公民館	137 ~ 148	R05.10~12
和田公民館	144 ~ 156	H28.4~6, R05.10~12
彦名公民館	151 ~ 161	H28.4~6, H28.7~9, R05.10~12
渡公民館※3	140 ~ 152 (140 ~ 165)	R02.1~3 (H28.7~9)
崎津公民館	141 ~ 151	R02.1~3

※1 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28~R05年度)とする。

※2 境港局はH30年度及びR02年度からR04年度にかけて周辺環境変化があったため、R05年度実績のみ(参考として、H28~R05年度変動幅を括弧内に記載)。

※3 渡公民館はH29年度に周辺環境変化があったため、H30~R05年度実績とする(参考として、H28~R05年度変動幅を括弧内に記載)。

## (2) 大気浮遊じん全α及び全β放射能の連続測定

測定地点	全α放射能(mBq/m <sup>3</sup> )		全β放射能(mBq/m <sup>3</sup> )	
	平常の変動幅	測定開始からの 最小~最大値	平常の変動幅	測定開始からの 最小~最大値
境港局	6~1,671 (R01.11.23 11:00)	6~2,124 (H26.04.16 10:00)	18~4,761 (R1.08.10 08:00)	18~5,584 (H30.07.20 08:00)
米子局	5~1,983 (R01.05.26 05:00)	5~2,481 (H26.06.02 10:00)	18~5,415 (R01.05.26 05:00)	17~5,920 (H30.08.03 08:00)

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R01~R05年度)の最小から最大値までの範囲とする。

※ 各項目の測定はH26年度から開始した。

※ 数値の下の( )は最大値の検出年月日 時刻を示す。

(3) 環境試料中の放射性核種

ア ガンマ線スペクトロメトリー

区分/試料	部位	採取地点	Cs-137			測定期間	
			平常の変動幅	測定開始からの 最小から最大値	単位		
大気 浮遊じん	—	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	mBq/m <sup>3</sup>	H24～ R05	
		米子市河崎	ND～0.010 (R03.12)	ND～0.010 (R03.12)			
降下物	—	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	MBq/km <sup>2</sup>	H25～ R05	
		米子市河崎	ND～0.18 (H30.3)	ND～0.18 (H30.3)		H29～ R05	
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	mBq/L	H24～ R05
			米子市河崎	ND (-)	ND (-)		
		原水	米子市福市	ND (-)	ND (-)		
植物	松葉	二年葉	境港市幸神町	0.18～0.79 (R03.10)	0.16～0.79 (R03.10)	Bq/kg 生	H24～ R05
			米子市夜見町	0.071～0.18 (R04.10)	0.050～0.18 (R04.10)		
陸土	表層	境港市馬場崎町	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 乾土	H24～ R05	
		米子市河崎	ND (-)	1.1 (H24.7)			
海水	表層水	米子市昭和町 (美保湾)	ND (-)	ND (-)	mBq/L	R05	
		米子市大篠津町 地先(美保湾)	ND～2.2 (H25.12)	ND～2.2 (H25.12)		H24～ R05	
農産物	米	精米	米子市夜見町	0.13～0.28 (H26.10)	0.13～0.28 (H26.10)	Bq/kg 生	H26～ R05
	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	ND (-)	ND (-)		H25～ R05
	ダイコン	根	境港市中海干拓地	ND (-)	ND (-)		
海産物	ワカメ	可食部	境港市近海	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 生	H26～ R05
	イワガキ	身		ND (-)	ND (-)		
	セイゴ	身		0.10～0.16 (H28.10)	0.10～0.16 (H28.10)		H26～ R04
	ナマコ	身		ND (-)	ND (-)		H25～ R05

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小から最大値までの範囲とする。

※ 測定開始から10年経過しない項目は暫定値(測定開始年度～R05年度)とする。

※ 数値の下の( )は最大値の採取年月を示す。



### イ トリチウム分析

区分/試料	部位	採取地点	H-3			測定期間
			平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月	
陸水	蛇口水	境港市上道町	ND ~ 0.47	Bq/L	H27.05	H27~R05
		米子市河崎	ND ~ 0.37		H28.05	
	原水	米子市福市	ND		—	
海水	表層水	米子市大篠津町地先 (美保湾)	ND ~ 0.39		H27.11	H27~R05
		境港市昭和町 (美保湾)	0.14 ~ 0.18		R05.06	R05

※ 「平常の変動幅」は、各地点における前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないのため、暫定値（H27~R05年度）とする。

### ウ 放射化学分析（ストロンチウム）

区分/試料	部位	採取地点	Sr-90			測定期間
			平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月	
陸水	蛇口水	境港市上道町	1.0~1.1	mBq/L	R05.06	R05
陸土	表層	境港市馬場崎町	0.30~0.43	Bq/kg	R03.07	H30~R05
		米子市河崎	ND~0.47	乾土	R01.07	

※ 「平常の変動幅」は、各地点における前年度までの10年間の最小から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値（各測定開始年度~R05年度）とする。

### エ 放射化学分析（プルトニウム）

区分/試料	部位	採取地点	Pu-238	Pu-239+240	単位	採取年月
陸土	表層	境港市馬場崎町	ND	ND	Bq/kg 乾土	R01.07
		米子市河崎	ND	0.029		
	下層	境港市馬場崎町	ND	ND		
		米子市河崎	ND	0.027		

※ 「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）、平成30年4月、原子力規制庁監視情報課」に基づき、実施範囲全域において最低1回の調査を行ったもの。

(4) 令和5年度までに測定終了した測定項目【参考】

ア 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）

区分/試料	部位	採取地点	Cs-137			測定期間
			測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
陸水	池水	境港市小篠津町	ND	mBq/L	—	H24～R04
陸土	下層	境港市馬場崎町	ND	Bq/kg 乾土	—	H24～R04
		米子市河崎	1.6		H24.7	
海水	表層水	米子市葭津地先 (中海)	ND	mBq/L	—	H24～R04
海底土	表層 底質	米子市葭津地先	ND～8.0	Bq/kg 乾土	H25.10	H24～R04
		米子市大篠津町地先	ND～0.90		R02.11	
農産物	ダイコン	葉	境港市中海干拓地	Bq/kg 生	—	H25～R04
牛乳	—	米子市和田町	ND	Bq/L	—	H25～R01

イ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

区分/試料	部位	採取地点	H-3			測定期間	
			測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月		
陸水	池水	表層水	境港市小篠津町	ND～0.69	Bq/L	H27.11	H27～R04
海水	表層水	米子市葭津地先 (中海)	ND ～ 0.48	H27.10		H27～R04	

ウ 環境試料中の放射性核種（放射化学分析（ストロンチウム））

区分/試料	部位	採取地点	Sr-90			測定期間
			測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
陸土	下層	境港市馬場崎町	0.31～0.45	Bq/kg 乾土	R04.07	H30～R04
		米子市河崎	0.23～0.45		R01.07	
農産物	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	Bq/kg 生	R04.12	R01～R05